

日本農業労災学会 Newsletter

第15号(No.15) 2021年9月1日発行

●発行：日本農業労災学会事務局

〒184-0004 東京都小金井市本町1丁目6番2号

メゾン・ド小金井301

麒麟社会保険労務士事務所内

電話番号 042-316-6420/FAX 042-316-6430

E-mail : kuroda@kirin-office.com

ホームページ : <http://jfapr.jp/>

会員各位

日本農業労災学会

会 長 北田紀久雄

第8回大会実行委員長 原 温 久

2021年度（第8回）大会シンポジウムの開催について

平素より学会活動につきましては、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、下記の通り第8回大会シンポジウムを開催しますので、ご案内申し上げます。

今回のシンポジウムは、今般の新型コロナウイルスの急激な感染拡大のため、前回に引き続き Zoom によるオンライン開催とさせていただくことになりました。パソコンやスマホなどで Zoom を利用できる通信環境があれば、遠方でも参加・聴講が可能というメリットもあります。多くの会員の皆様にご参加いただけますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

記

1. 開催日時：2021年10月22日（金）13:00～16:20（個別研究報告を除く）

2. 会 場：オンライン開催（Zoomによる）

3. 主催団体：日本農業労災学会・東京農業大学総研研究会 3 研究部会

（労災対策研究部会・就農者推進教育研究部会・農業協同組合研究部会）

4. 後援団体：JA 全国組織、JA 単協等

5. シンポジウムのテーマ

『農作業事故防止のために産官学と農協・社労士グループとの連携をどう進めるか
ー農作業安全対策の新たな展開方向を踏まえてー』

6. 開催趣旨・ねらい

今日、農作業安全や事故防止が緊急の課題として様々な対策が実施されているが、農作業による死亡や負傷事故件数が着実に減少していない。こうした中で農林水産省では農業機械作業に係わる死亡事故を令和4年に平成29年度比半減という明確な達成目標を立て、それに向けて具体的な取り組みを加速化しつつある。加えて、同省では農林水産業・食品産業の作業安全のための規範（共通規範）の策定を通じて、農林水産業・食品産業の働き方改革というより広い枠組みで作業安全に取り組む重要性を提起している。

一方で厚生労働省では複数就業すなわち、兼業や副業に対する作業安全や労災保険制度の改正が行われ、多様な働き方・ダイバーシティを踏まえた安全対策の推進が求められている。農業現場でも女性就業者や外国人労働者、農福連携などが重要な役割を果たすようになり、多様な農業就業形態を前提とした農作業安全対策をどうするかも喫緊の課題となっている。

このような課題に直面する中でより包括的かつ効果的な農作業事故防止・安全対策を進めるためには、農林水産業や食品産業の働き方改革の方向性を踏まえ、一層の産官学の組織的な連携、情報の共有が不可欠であると考えられる。本シンポジウムでは、産官学連携のもとに進められている農作業事故防止・安全に対する対策・取り組みについて、政策面や技術面から最新の現状や問題点を把握すると共に、ダイバーシティの視点から外国人労働者の安全対策についても検討を深めていきたいと考える。そのため、関係省庁による新たな対策や制度改正についての基調報告をベースに、産官学で取り組んでいる現地からの最新の農作業安全対策の報告も踏まえ、「農作業事故防止のための産官学と農協・社労士グループとの連携をどう進めるか」について共通認識の醸成に努め、今後の展開方向を明らかにすることをねらいとして本シンポジウムを開催する。

7. プログラム

- | | |
|---|-------------|
| 1) オンライン大会入室開始 | 12:30 |
| 2) 開会 | 13:00 |
| 3) 開会挨拶 | 13:00～13:10 |
| 日本農業労災学会会長 北田紀久雄 | |
| 東京農業大学学長 江口 文陽 | |
| 4) 座長解題 | 13:10～13:20 |
| 半杭 真一（東京農業大学准教授）、宮永 均（JA はだの代表理事組合長） | |
| 5) 基調報告（6名、各15分+切替時間2分=17分） | |
| 第1報告 | 13:20～13:37 |
| 農作業事故防止安全対策の現段階と今後の展望・・・田島 淳（東京農業大学教授） | |
| 第2報告 | 13:37～13:54 |
| 安全性検査の充実と受検率の向上における連携のあり方・・・藤井 幸人（農研機構 農業機械研究部門 安全検査部長） | |
| 第3報告 | 13:54～14:11 |
| JAグループの農作業安全とGAPの取り組み・・・高橋 昭博（全国農協中央会営農・くらし支援部 営農担い手支援課考査役） | |

- 第4報告 14:11~14:28
北海道における農作業事故防止の取り組みについて・・・瀬野 俊彦（北海道農作業安全運動推進本部 事務局長）
- <休憩> 14:28~14:40
- 第5報告 14:40~14:57
外国人技能実習生等の農家受け入れ実態と監理団体の役割—健康管理、農作業安全衛生管理との関連で・・・成井 貞行（茨城県 JA グループ監理団体「協同組合エコ・リード」）
- 第6報告 14:57~15:14
兼業・副業に係わる農作業安全対策と農業労災制度の役割・・・中村 仁（社会保険労務士・山梨県）
- 6) コメント（3名、各5分+切替時間1分） 15:14~15:32
コメンテーター
①本田 雅弘（石川県・農家）
②由良 竜一（神奈川県農業協同組合中央会 営農企画部長）
③及川 次夫（Thailand）
- 7) 全体討論（35分） 15:32~16:07
- 8) 座長総括 16:07~16:15
- 9) 閉会挨拶 学会副会長 堀内政徳 16:15~16:20
- 10) 閉会（オンライン大会終了） 16:20

※個別研究報告の希望がある場合には、座長総括後に5分休憩し、16:20開始、16:45終了（報告15分、質疑応答10分）とし、その後に閉会挨拶（16:45~16:50）、閉会（16:50）とする。

8. 参加費等・申込み手続き

1) 参加費等

- (1) 大会参加費：1,500円（参考：会員外の一般参加費は2,000円です。）
- (2) 不参加のため資料送付を希望の場合の代金：1,500円（送料込）

2) 申込み手続き

(1) 申込期限と申込み先

①個別研究報告を受け付けております。

ご希望の方は、氏名・所属・連絡先住所・電話・E-mail・研究報告の題目並びに報告要旨（1000字以内）を9月24日（金）必着で、学会事務局（1ページ扉参照）並びに下記の原 温久大会実行委員長宛（E-mail：h3hara@nodai.ac.jp）とccで北田紀久雄宛（E-mail kitada@nodai.ac.jp）にお申し込みください。

②シンポジウム参加等をご希望の方は、9月24日（金）必着で同封の返信用ハガキの該当欄に○印をご記入の上、お送りください。

(お願い) 返信用ハガキにメールアドレスの記入がない場合、オンライン参加に必要な情報メールの送信が出来ませんので、必ずご記入ください。また、不参加の場合に大会資料の送付を申し込む場合、資料は返信ハガキに記載された住所に郵送させていただきますので、ご了承ください。

(2) 大会参加費等は、同封の郵便振替票の該当欄に○印を付けて金額をご記入の上、10月8日(金)までに振込みをお願いいたします。

3) オンライン開催までの主なプロセス

(1) 参加申込みの確認後、10月4日(月)より、順次、参加者にメールでZoom接続のためのURL等をご案内いたします。

(2) 参加費の送金をいただいた参加者には、10月11日(月)以降に逐次、大会要旨集のダウンロード方法についてご案内をいたします。各自ダウンロードしてご利用ください。本年度は原則として大会要旨集は印刷して配布しないこととなりましたのでご了承ください。

(3) シンポジウムには参加できないが、大会要旨集を希望する場合には、返信ハガキでその旨ご回答をいただくと共に、大会要旨集代1,500円を10月8日(金)までご送金ください。大会終了後、10月25日(月)以降に郵送させていただきます。ただし、本年度の大会要旨集は簡易印刷版となりますのでご了承ください。

9. 大会事務局、問合せ先

本シンポジウムについての問合せは、下記までお願いいたします。

●大会実行委員長 東京農業大学 国際食料情報学部 国際食農科学科 原 温久

TEL 03-5477-2364 E-mail h3hara@nodai.ac.jp

●学会長 北田紀久雄 TEL 090-4957-2039 E-mail kitada@nodai.ac.jp

●学会事務局 1 ページの扉参照

以 上